

食器の材質変更について

1 現状・課題

一般家庭で使用されている陶磁器と類似しており、家庭に近い環境で給食を喫食できることや、口当たりが良く親しみやすいことなどから、平成8年度、試行を経て、アルマイト食器から強化磁器食器に入れ替えを進め、平成14年度から、全校で導入している。

しかしながら、強化磁器食器ならではの利点はあるが、割れやすく危険、重い、音が大きい等の課題があり、新たな材質の食器が普及していることなどから、食器の変更の検討を進めている。

2 経過

令和4年7月に、各校で給食に使用する食器について、アンケートを実施したところ、磁器食器に肯定的、否定的、様々な意見があったが、磁器食器以外の使用の検討が必要であるとの意見結果であった。

令和5年度2学期から、古江台小学校にて、新しい食器であるPEN食器（ポリエチレンナフタレート製の食器）を試行実施し、令和5年10月に教職員を対象にアンケートを実施したところ、今回、使用したPEN食器の導入が望ましいとの結論を得た。

3 今後の取組み内容

- (1) 新旧2種類の食器が混在することで、給食調理員の作業負担が大きくなるため、食器の入れ替えは学校単位とする。
- (2) 配膳に時間を要する学校（ワゴンの手運びが混在している、配膳室から教室までの距離がある等）を優先としていく。
- (3) 令和6年度より年次的に入れ替えをすすめていく。

（導入予定）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R12	R13	合計
購入数	800	2,500	3,200	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	23,000